

東京大学
知的資産経営総括寄付講座
公開セミナー

知的資産
ビジネス
熟

- 開講期間 2009年4月～
時間 18:30～20:30 (18:00 開場)
会場 三菱ビル 1F
コンファレンススクエア M+
サクセス (東京駅直結)
入場料 ¥1,000
申込方法 <http://www.iam.dpc.u-tokyo.ac.jp/>
上記サイトよりお申し込み下さい。
当日満員の場合は入場をお断りする場合がございます。



■アクセス

- JRをご利用の方 山手線「東京駅」丸の内南口徒歩約2分
京葉線「東京駅」10番出口より直結
- 地下鉄をご利用の方 東京メトロ千代田線「二重橋前駅」4番出口徒歩約2分
東京メトロ丸の内線「東京駅」地下道経由徒歩約3分
都営三田線「大手町駅」D1出口徒歩約4分
東京メトロ東西線「大手町駅」B1出口徒歩約6分
- 会場住所：東京都千代田区丸の内 2-5-2
三菱ビル 1F コンファレンススクエアM+ サクセス
サイト URL：<http://www.marunouchi-hc.jp/emplus/index.html>

■知的資産経営総括寄付講座 寄付者のご紹介

本講座は、以下のみなさまのご寄付によって運営されています。

株式会社リクルート <http://www.recruit.jp/>
ngi group 株式会社 <http://www.ngigroup.com/>
笠原 健治氏 (株式会社ミクシィ 代表取締役社長) <http://mixi.jp/> 他

主催：東京大学総括プロジェクト機構知的資産経営総括寄付講座
共催：特定非営利活動法人グローバルビジネスリサーチセンター (GBRC)
後援：三菱地所株式会社

■ 概要

第2回 4月23日(木)

イノベーションイニシアチブ

～ 技術で勝って、事業で負ける日本企業の処方箋を探る ～

妹尾堅一郎 東京大学 知的資産経営総括寄付講座 特任教授
NPO 法人 産学連携推進機構 理事長

今、製造業をはじめ日本の産業は、悲惨な状況に面しています。技術で勝っても、事業で負ける。技術で勝って、特許をとっても、事業で負ける。技術で勝って、特許をとって、国際標準をとっても、事業で負ける…。

なぜなのでしょう。実はプロイノベーション時代の企業・産業競争力は、従来のイノベーションモデルとは異なる新しいモデルでグローバルに展開しているのです。すなわち、イノベーションモデル自体にイノベーションが起こってしまったのです！

それを知らずに旧来のイノベーションモデルを前提にした競争戦略で闘おうとすると、どうなるか。日本企業の惨憺たる現状は、その結果なのです。この状況を乗り越えていくために、研究開発戦略・知財戦略・事業戦略の「三位一位」経営によるイノベーションイニシアチブを起点とした戦略を展開すべきです。本セミナーでは、主として製造業を中心に、この問題と課題の俯瞰図を描き、その処方箋の可能性と限界を探ってみることにします。

第3回 5月20日(水)

新興国市場開拓に向けた日本企業の製品戦略

～ 技術力を新興市場開拓に活かすために ～

新宅純二郎 東京大学大学院経済学研究科 准教授

欧米など先進国市場が冷え込む中、日本企業にとって、中国、インドなど成長著しい新興国市場の重要性はますます高まりつつあり。しかし、日本製品は、高品質だが価格が高すぎる、不要機能が多すぎる、デザインが魅力的でないなどといった理由で新興国市場に浸透しないことが多い。高品質・高機能の製品を設計・生産するものづくり能力が新興国市場でのブランド力になっていない。価格競争になりがちな新興国市場で、日本企業がめざすべき戦略について考えていきたい。

第4回 6月30日(火)

大学の特許管理は企業との連携に

どのような影響を与えたか？

～ 国立大学法人化後直近までのデータ分析から ～

渡部俊也 東京大学先端科学技術研究センター教授
ロバートケネラー 東京大学先端科学技術研究センター教授

国立大学は法人化以降特許管理体制を整備して知財を介した産学連携をすすめている。このことが企業との連携、特に共同研究にどのような影響を及ぼしたかについて、企業規模別にデータを見ていく。得られたデータからは、大学が特許管理を行うことで中小企業との連携はポジティブな影響を受けているが、大企業との連携の障害になっている面も示されている。このことの原因について特に制度的な面に着目して考察した。

第5回 7月23日(木)

製品アーキテクチャのダイナミズムを踏まえた

オープン標準化と知財マネジメント

～ 我が国企業とアジア諸国企業との共存共栄に向けて ～

小川紘一 東京大学知的資産経営総括寄付講座 特任教授

21世紀の文明装置としてのデジタル・ネットワーク型産業では、人工ゲノムとしてのSystemLSIが製品設計へ深く介入するようになり、技術の伝播スピード/着床スピードがこれまで考えられないほど速くなった。特にオープン標準化がこのスピードを更に加速させて巨大市場を瞬時に生み出し、グローバル経済を活性化する役割まで担うようになったのである。その背後には、SystemLSIの作用とオープン標準化の作用もたらす製品アーキテクチャのダイナミズムがあり、ダイナミズムが加速する国際分業化があり、そして国際分業を産業政策へ取り込むアジア諸国の比較優位の制度設計があった。このような経営環境では、誰にでも使わせることを目的にしたオープン標準化が、イノベーション成果を大量普及させるアクセルに位置取りされる。したがって、使わせ方をコントロールしながら利益の源泉や市場支配力を構築する手段としての知財マネジメントが、技術開発以上に大きな意味を持つようになった。グローバル・ビジネスにおける知的財産の役割が大きく変わったのである。本講演では、まず上記の経営環境が生まれる歴史的な背景をレビューした上で、ビジネス現場に見る我が国企業の実態を、多様な市場データを用いながら明らかにする。また21世紀の我が国企業がアジア諸国企業と共存共栄するためのビジネスモデルについても、多くの事例を使って紹介したい。

■ 今後の予定

以下の予定・内容は変更する場合がございます。詳細はHPでご確認下さい。

第6回 9月24日(木)

社内における新規事業創造のプロセス

～ サービス産業の事例分析より ～

中野剛治 東洋大学 経営学部 専任講師
東京大学知的資産経営総括寄付講座 特任講師

第7回 10月15日(木)

大学発ベンチャーと知的資産経営

各務茂夫 東京大学産学連携本部教授 事業化推進部長

第8回 11月26日(木)

グローバルイノベーションエコシステムにおける中国・インドの台頭

元橋一之 東京大学大学院工学系研究科技術経営戦略学専攻教授

第9回 12月17日(木)

知的資産活用スキルのマネジメント：知的財産検定データを用いた分析

犬塚篤 東京大学知的資産経営総括寄付講座特任准教授

若林昌子 知的財産教育協会副事務局長

■ 知的資産経営総括寄付講座 紹介

東京大学知的資産経営総括寄付講座は平成19年の10月に設置され、昨年度より本格的な活動を始めてまいりました。製造業、サービス産業分野の企業や、ハイテクベンチャー企業における知的資産マネジメントについて研究を行い、成果を体系化した教育プログラムを開発することを目的としています。具体的には、1.イノベーションを生み出し指摘資産を最大化する企業のマネジメントについて研究を行う2.上記で得られた研究成果を体系化し、技術経営教育や学生向け起業家教育などの教育プログラム開発に反映させる、の2つの活動を行っております。

本講座には、経営学、技術経営や知的財産、法律、人材育成、などさまざまな分野の専門家と実務家に参加し、それぞれの専門領域における企業の知的資産に関する知識の統合化を進めていきます。今後は、それぞれの研究テーマについて順次ご紹介をさせていただく機会を設けてまいりたいと存じます。

■ お申し込み

<http://www.iam.dpc.u-tokyo.ac.jp/>

上記サイトよりお申し込み下さい。当日満員の場合は入場をお断りする場合がございます。

■ お問い合わせ

東京大学総括プロジェクト機構 知的資産経営総括寄付講座事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 薬学本館607号室

TEL：03-5841-0397

URL：http://www.iam.dpc.u-tokyo.ac.jp/